

《読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》

読書活動への扉を開く！

桑村小学校 令和4年9月2日 文責 渡邊

7月に、保護者の方による「読み聞かせ」が開催されました。3日間にわたり18名の方が協力してくださいました。ありがとうございました。

その際、「読み聞かせ」をしていただきました保護者の方々から感想を寄せていただきましたのでその一部を紹介させていただきます。



【第1学年の読み聞かせをしていただいた保護者の感想より】

わゴム、実際に伸ばしても、普通のをゴムならすぐに切れてしまうだろうと、子供たちも分かっていたはずですが、それでもページをめくる度に、「え？」「えー？」などと反応してくれたり、自分の思い(考え)を教えてくれたり、興味津々に聞いてくれていて読んでいて私も楽しかったです。

※子供たちの反応はとても嬉しいものです。「読み聞かせ」をありがとうございました。



【第1学年の読み聞かせをしていただいた保護者の感想より】

子供たちの前で初めて読み聞かせをさせて頂きました。初めてなので、どんな本がいいのか悩み、3冊の中から子供たちに選んでもらいました。全員一致で『おばけによぼう』に決定しました。キラキラと興味津々にお話に集中する子供たちがとってもかわいかったです。緊張していたのですが、子供たちの優しい空気で緊張もゆるみました。

※子供たちから選んでもらう方法はおもしろいやり方ですね。ありがとうございました。



【第2学年の読み聞かせをしていただいた保護者の感想より】

皆、とても真剣に聞いてくれて、読みがいがありました。静かに聞いてくれるのも良いのですが、話に子供らしく反応してくれたりすると、それも嬉しいものでした。次回は、参加型絵本の読み聞かせにもチャレンジできればと思います。

※子供の素直な反応は嬉しいものですね。静かに聴くことはマナーとして大切ですが、子供たちの反応が見えるとやりがいになりますものね。次回は、「参加型絵本」に取り組んでいただけるとのこと、とても楽しみです。ありがとうございました。



【第2学年の読み聞かせをしていただいた保護者の感想より】

みんなが大好きなポケモンなので、楽しみにしてくれる気持ちがとても伝わり、真剣に聞いてくれました。ゲームやテレビの世界のポケモンが、絵本の中で、素朴なお話として心に浸透してくれたようでした。もう1冊は、少しわかりにくかったかもしれませんが、楽しんで聞いてくれてとてもよかったです。

※『ポケモン』の読み聞かせをありがとうございました。映像とは異なり、子供たち一人一人がイメージを膨らませたことが想像されます。絵本の良さが発揮されました。



【第3学年の読み聞かせをしていただいた保護者の感想より】

絵本ではなかったのですが、本人のイメージを膨らませて聞いてもらう感じです。しっかり聞いてくれる人、筆箱をずっと触っている人、時々キョロキョロする人、反応は様々でした。地元の民話なので、そういえば聞いたことのある話だなあと、この先記憶に残ってくれたら良いと思います。

※函南町の民話『猫踊り』の読み聞かせをありがとうございます。わたしたちの町に伝わる民話を取り上げていただき、地域のことを学習する3年生にとって社会科の学習につながったことと思います。



【第3学年の読み聞かせをしていただいた保護者の感想より】

低学年の頃は、単純に面白い話や興味がありそうな話を探して、読み聞かせをしていました。でも、中学年になって、もっと深く考えさせられる物語を読み聞かせたいなと思い、この本を選びました。子供たちの心に響いたかどうかは分かりませんが、みんなじっと耳を傾けて聞いてくれていたと思います。

※『わすれられないおくりもの』は、わたしも大切にしている絵本の一冊です。きっと3年生の子供たちにも優しい思いは届いたと思います。ありがとうございました。

今回は紙面の都合で、1年生から3年生の保護者の方の感想を中心に紹介いたしました。4年生から6年生の保護者の皆様方にも感想を寄せていただきました。本当にありがとうございました。これからもご家庭の協力を得ながら読書活動を推進していきたいと考えます。どうかよろしくお願ひします。

----- 切り取り線 -----

「読書活動の扉を開く」（9月2日号）を読んだの感想

（ ）年（ ）